

平成28年度第2回
北海道スポーツ推進審議会

会 議 録

日 時：平成28年10月20日（木）午前10時00分開会
場 所：かでの2・7 1050会議室

1. 開 会

○事務局（長谷川文化・スポーツ局スポーツ振興課長） 皆さんおはようございます。
ただいまから、平成28年度第2回北海道スポーツ推進審議会を開催します。
私は進行を努めますスポーツ振興課の長谷川です。よろしくお願いたします。

2. 挨拶

○事務局（長谷川課長） 開会に当たりまして、佐藤文化・スポーツ局長より御挨拶申し上げます。

○佐藤文化・スポーツ局長 文化・スポーツ局長の佐藤でございます。

本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

今年はオリンピックの年であり、リオデジャネイロオリンピックでは、北海道選手が随分活躍しました。特に卓球では、丹羽孝希さんが団体銀メダル、柔道女子78キロ超級の山部佳苗さん、パラリンピックの方ではロードの藤田征樹さん、ウィルチェアーラグビーの池崎大輔さん、陸上女子400メートルの辻沙絵さん、こうしたオリンピックで2名、パラリンピックで3名の北海道出身の方々がメダルを獲得され、そのほかに大勢の方々が現地で活躍されております。

リオデジャネイロでメダルを獲得された皆様には、道民栄誉賞の基準に合致することから、先月13日には山部佳苗さん、今週17日には藤田征樹さんに知事から道民栄誉賞をお渡ししました。

本日は、皆様方にはこのオリンピックもさることながら、去年から今年にかけて夏の国体、冬の国体で活躍されました本道の選手、あるいはインターハイ、インカレ、全国大会で活躍された選手、また、スポーツ団体で長年御尽力されてきた役員の皆様方の中から、北海道のスポーツに貢献された方を皆様の審議によって、北海道スポーツ賞候補者の贈呈対象として、御審議いただくことでお集まりいただいております。皆様の専門的なお立場から貴重なご意見を賜りますようお願い申し上げます。

○事務局（長谷川課長） 本会議について説明させていただきます。

北海道スポーツ推進審議会はスポーツ基本法第31条及び北海道スポーツ推進審議会条例により知事の諮問に応じ、設置されているところであります。

また、北海道情報公開条例第26条により、会議は「公開」となりますが、会議を公開することが適当でない場合は、同条但し書きにより会長が会議に諮って「非公開」とすることができます。会議録は、非公開部分を除き行政情報センターで閲覧に供するほか、道のホームページで公表することになっておりますので御承知ください。

本日は、急遽、黒田委員が欠席の連絡がありまして、12名の委員に御出席いただいております。全委員の2分の1以上の出席があることから、北海道スポーツ推進審議会条例第6条第2項により会議が成立していることを御報告いたします。本会議の終了予定時刻は概ね11時30分を予定しておりますので、長時間恐縮ですが、よろしくお願いたします。

ます。

[会議資料を確認]

本日は資料として、資料1「平成28年度スポーツ振興関連施策」をお配りしております。なお、審議事項の資料については、審議前にお配りしますので、よろしくお願ひします。

3. 議 事

○長谷川課長 それでは、議事に移らせていただきます。宇佐美会長、進行よろしくお願ひします。

○宇佐美会長 局長から先ほどお話いただきましたように、今年はオリンピック・パラリンピックの活躍が目覚ましいところですが、先般の体育の日にちなんだ国民の体力についての発表を見ますと、それぞれ感じる場所もあると思ひますし、先般、私は、岩手国体の選手団の副団長として行ってきましたが、堀会長は8位以内を目指すと申しておりましたが、総合9位、女子は10位ということで、指導者の育成等々課題があると感じた次第です。感想として述べさせていただきました。

それでは、議事に入ります。議事の進め方ですが、お手元の次第に沿って報告事項1から審議事項1までを順番にお諮りいたします。それぞれの議題について事務局から説明を受けた後に委員の皆様方から質問をお受けいたします。

質問終了後、審議事項につきましては採決を行わせていただきます。

事務局からの説明にもありましたが、北海道情報公開条例第26条により、会議は「公開」となりますが、審議事項1は候補者の個人情報を含んでおり、会議を公開することは適当でないことから同条ただし書きにより「非公開」としたいと思ひますが、ご異議ございませぬか。

(「異議なし」と発言する者あり)

○宇佐美会長 それでは、審議事項1は非公開といたします。傍聴者並びに報道関係者におかれましては、報告事項1の終了後に御退室をいただきますよう、お願ひを申し上げます。

それでは、報告事項1について、事務局から説明してください。

○事務局(田森主査) スポーツ振興課の田森と言ひます。よろしくお願ひします。

資料1をご覧ください。私からは、第2回及び第3回定例道議会で計上された補正予算について説明します。

まず、1ページの下段をご覧ください。2定補正予算計上の「女性アスリート育成・支援プロジェクト事業費」は、国内外女子7人制ラグビーチームの国際交流大会の開催や競技者、コーチを対象とした講習会を行い、2019年ラグビーワールドカップ札幌開催に向けた気運の醸成と、道内女子アスリートの競技力向上を図るものです。

その一つとして、先月、9月22日(木)から24日(土)までの日程により、定山溪で「北海道知事杯2016女子セブンズラグビートーナメント」を開催し、ニュージーランド、オーストラリア、南アフリカから海外4チーム、北海道バーバリアンズディアナの

ほか、東北や関東など国内8チームの合計12チームによる試合や、女性アスリートに必要な医学的知識など、指導者や選手向けのセミナーを実施しました。

次に2ページの上段をご覧ください。2定補正予算計上の「地域タレント発掘・育成コンソーシアム事業費」は、冬季スポーツ競技に優れた資質を有する有能なタレントやアスリートを発掘し、ノルディック競技やバイアスロン競技における年代別強化指定選手へ引き上げることを目的に、中高生を対象とした競技会、測定会の開催、国内、海外キャンプを実施するものであります。

その第1弾として、先週10月14日（金）から16日（日）までの3日間、名寄市の協力により名寄市内で道内と岩手県、秋田県、山形県から、障がい者7名を含む中高生66名が参加した、射撃やローラースキーの競技会の実施や、リオオリンピック女子柔道78キロ超級銅メダリストの山部選手等を講師にセミナーを開催しました。

この競技会の成績等により選抜された30名が、12月に名寄市で開催される国内キャンプに参加します。

次にその下段をご覧ください。2定補正予算で計上された「北海道スポーツコミッション事業費」は、2019年ラグビーワールドカップなど、国内大会開催に向け合宿地の誘致活動を行うほか、合宿誘致を進める市町村との情報交換等を開催するものです。

その一つとして、「北海道スポーツ国際交流セミナー」を9月30（金）に道庁別館で開催し、内閣官房東京オリパラ推進本部事務局など関係機関により、ホストタウンや合宿誘致、スポーツ国際交流等を進めるための各種制度や補助金等を説明しました。

なお、本セミナーに参加した19市町村を対象として、12月中旬に海外スポーツ担当者とは意見交換等を行うことができる「スポーツ国際交流マッチング事業」を予定しております。

次に、4ページの上から3つ目をご覧ください。3定補正予算計上の「2016NHK杯国際フィギュアスケート競技大会開催費補助金」は、2016NHK杯国際フィギュアスケート競技大会組織委員会が、11月に真駒内セキスイハイムアリーナにおいて実施する「2016NHK杯国際フィギュアスケート競技大会」開催に要する経費に対し補助するものです。資料1の説明は以上とさせていただきます。

○宇佐美会長 はい、ありがとうございました。ただいまの報告につきまして、御質問ございませんでしょうか。

○遠藤委員 資料2ページの北海道スポーツコミッション事業費についてですが、札幌市さんの方でもグローバルスポーツコミッションを立ち上げましたが、タイアップなど横の調整・連携などの考えがあれば伺いたいと思います。

○長谷川課長

札幌市では今年3月末にスポーツコミッションが立ち上がりました。知事も役員になっておりますが、札幌市は札幌市でスポーツコミッションを行いますが、道は広域的な観点から札幌市以外部分の情報収集や提供など、これから連携していこうと考えています。

○宇佐美会長 ほかにございませんか。よろしいでしょうか。それでは報告事項1については、これで終了します。

今日は、報道関係者や傍聴者もいらっしゃいませんが、冒頭に申し上げましたとおり、審議事項1は個人情報を含んでいますので「非公開」とします。

〔平成28年度北海道スポーツ賞候補者の選考：非公開〕

○宇佐美会長 予定していました議事は以上でございます。

全体を通しまして委員の皆様から何か御質問、御意見ございますか。

レクリエーション大会のことで何かPRしますか。

○熊谷委員 9月23日から25日までの日程で、今年で70回目の全国レクリエーション大会が岐阜県で開催され参加してまいりました。岐阜県では全県挙げて全市町村がいろいろな種目をやっており、参加者は6万5千人、岐阜県内の方も1万5千人が参加した大規模な大会でした。

一昨年、3月26日の北海道新幹線開通をきっかけに北海道でも開催して欲しいという意向があり、北海道レクリエーション協会では、第71回目の全国レクリエーション大会を函館市中心に道南エリアともう一つ種目団体では、車いすダンスの発祥の地の恵庭市で開催することに決定しました。現在、研究フォーラムと種目団体として20種目位を行うと計画しており（決定ではありませんが）、北海道が発祥の地であるミニバレーやパークゴルフも行おうと考えております。参加者を1万人見込んでおり、宿泊施設の確保について検討中であります。名鉄観光と提携し、現在準備委員会であるが、来年4月に実行委員会を立ち上げ、要綱等は6月までに作成予定。日本レクリエーション協会に加盟していない団体も参加できる特別行事もあり、現在参加団体を募集していますので、北海道レクリエーション協会に御連絡ください。

○宇佐美会長 ありがとうございます。ほかに何かございますか。

○日向委員 来年3月に札幌市でIPC（国際パラリンピック委員会）ワールドカップが開催されるが、障がい者スキーとバイアスロンと北海道の文化・スポーツとの関係はどのようなになっているか伺います。

○長谷川課長 現在、札幌市が主体となり進めております。我々も荒井秀樹監督からお話があり、大会運営の部分でお手伝いをさせていただく方向で進めております。

○日向委員 一昨年、旭川で全道のIPCの大会が開催されました。その人達から情報があり、どうなっているのかと問い合わせが来ておりますので、北海道の方で確認していただけますか。

○佐藤局長 わかりました。旭川のときは旭川市が動き、我々にも話が来ておりましたし、札幌からも来ております。地域の協会の方が心配しておりますので、札幌市へどういう感じなのか、ソフトに聞いてみます。

○日向委員 その時に、旭川大会のボランティアで来ていた人たちが、もっと関わりたいと言っています。

○佐藤局長 会員数の規模もあります。健常者のクロスカントリースキー、アルペンスキーは組織が大きく、横の連携がうまくいくのですが、障がい者スポーツの方は組織化も進んでいないようで、運営も大変と聞いております。スムーズな連携が進むよう頑張りたいと思います。

○宇佐美会長 ありがとうございます。それではお時間もあまりありませんので、これで終了いたします。今日は幅広いことについて皆さんの貴重な御意見を伺い、ありがとうございました。

それでは事務局にお返しいたします。

○事務局（長谷川課長） 宇佐美会長、ありがとうございました。

本日御審議いただいた議題のうち、審議事項1の北海道スポーツ賞候補者の選考につきましては、本日の審議結果を踏まえまして、知事が決定することになります。

なお、表彰式の日程につきましては、日程調整のうえ、後日、皆様方の方に連絡させていただきたいと思いますが、事務局としましては、来年1月下旬で日程調整したいと考えております。よろしく申し上げます。

なお、決定までの候補者氏名等の取り扱いにつきましては、皆様の方で御留意願いたいと思っております。また、選考過程等については、部外秘でありますので、本日お配りしました資料2は回収させていただきますので、そのまま机の上に置かれて帰られますようお願いいたします。そのほかの資料につきましては、お持ち帰りいただいて結構でございます。

4. 閉 会

○事務局（長谷川スポーツ振興課長） それでは、長時間わたりありがとうございます。以上をもちまして、平成28年度第2回北海道スポーツ推進審議会を終了いたします。本日は、誠にありがとうございました。

以 上